

式 辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとう御座います。また、ご家族の皆様にも、心より、お祝いとお慶びを申し上げます。第64回入学式を挙げるに当たり、ご列席をたまわりました本学同窓会会長様並びに学園関係の先生方には、心よりお礼を申し上げます。

さて、京都文教短期大学には、今日、177名の皆さんが入学されました。新入生の皆さんは、それぞれに将来への夢と希望をいただき、この入学式に臨んでいることと思います。

短期大学は四年制大学と比較すると学びの期間が2年間と短く、得られる知識やスキルの量も半分ではないか、また専修学校に比べて、専門性に欠けるのではないかと、などと言われることがあります。しかし、決してそのようなことはありません。本学が育成する人材は「人間力」、「社会力」、「専門力」を身に付けた人材です。その結果は、本学の高い就職率が物語っています。開学以来、62年間、多くの優秀な人材を社会に送り出してきたという自負があります。また、関西の多くの短期大学を牽引してきたという自信もあります。

本学で身に付ける「人間力」とは、生涯を通して生き抜く力（ちから）です。本学は、『仏教精神に基づく人間育成』を建学の精神の基本としています。仏教精神の根本である三宝帰依を、初代学長の三枝樹正道先生は「謙虚にして真理探究」、「誠実にして精進努力」、「親切にして相互協同」と、わかりやすく表現されました。この「謙虚であり、誠実であり、親切である」ことこそ、人が生涯を通して持つべき規範です。また「社会力」とは、大きく変化する社会生活に対して、自分自身を常に磨き続ける力（ちから）です。何事に対しても、人間力を持って、「気づき、考え、行動する」態度です。私たちは自分一人で生きているわけではありません。どんなにネット社会が発達したとしても、必ず他者はいます。他者に生かされていることを理解し、自分自身が、今、何をすべきかに「気づき」、他者の意見に耳を傾けて「考え」、失敗を恐れず「行動する」ことです。そして最後に「専門力」です。皆さんがこれから各学科で身に付けるべき専門的な知識とスキルです。この「知識」と「スキル」は、「How to」ではありません。将来、皆さんが希望する職種での働き方の基礎となる力（ちから）です。この基礎なくして、専門職でのいろいろな問題を判断し、解決することは出来ません。これら三つの力（ちから）、「人間力」、「社会力」、「専門力」は、別々のものではありません。本学での授業や行事等、二年間の学園生活の中で相互に関わり、身に付く力（ちから）です。私たち教職員は、全力で皆さんの夢を実現するためのお手伝いをします。

さあ、皆さん。新型コロナウイルスも終息に向かい、マスク着用も個人の判断となりました。これからの二年間は、皆さんが自分自身の行動に責任をもって、自分自身を表現する時間（とき）です。目先の小さな事にとらわれず、大きな夢に向かって動き出しましょう。

最後になりましたが、新入生の皆さん、この京都文教短期大学で過ごす二年間という時間を大切に、そして楽しんで下さい。その時間を、私たち教職員も一緒に共有できることを深く感謝して、入学式の式辞と致します。

令和5年4月1日
京都文教短期大学 学長 森井 秀樹